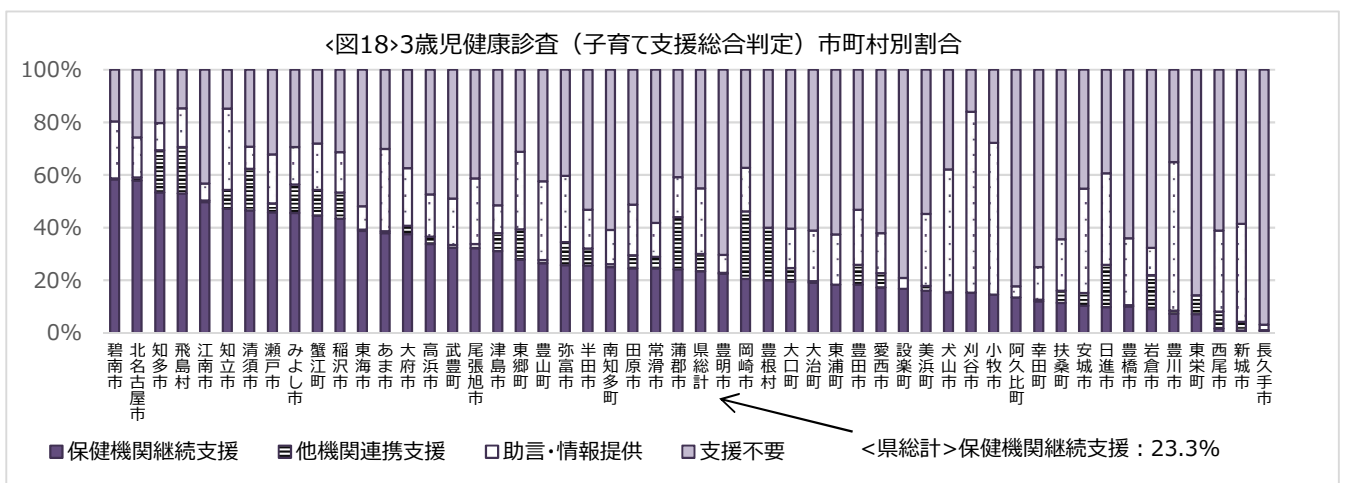
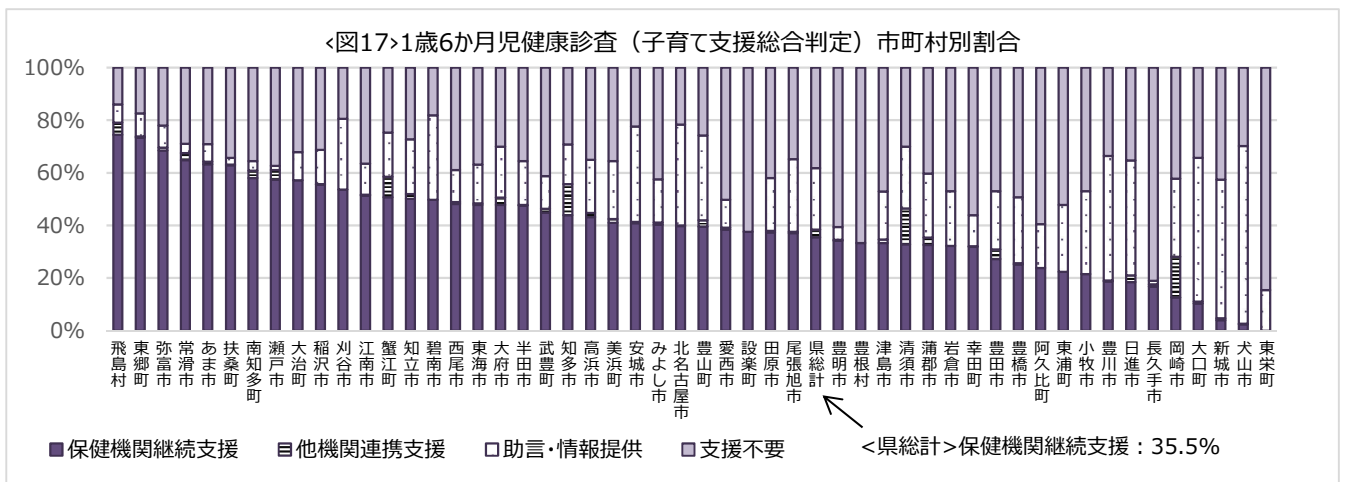
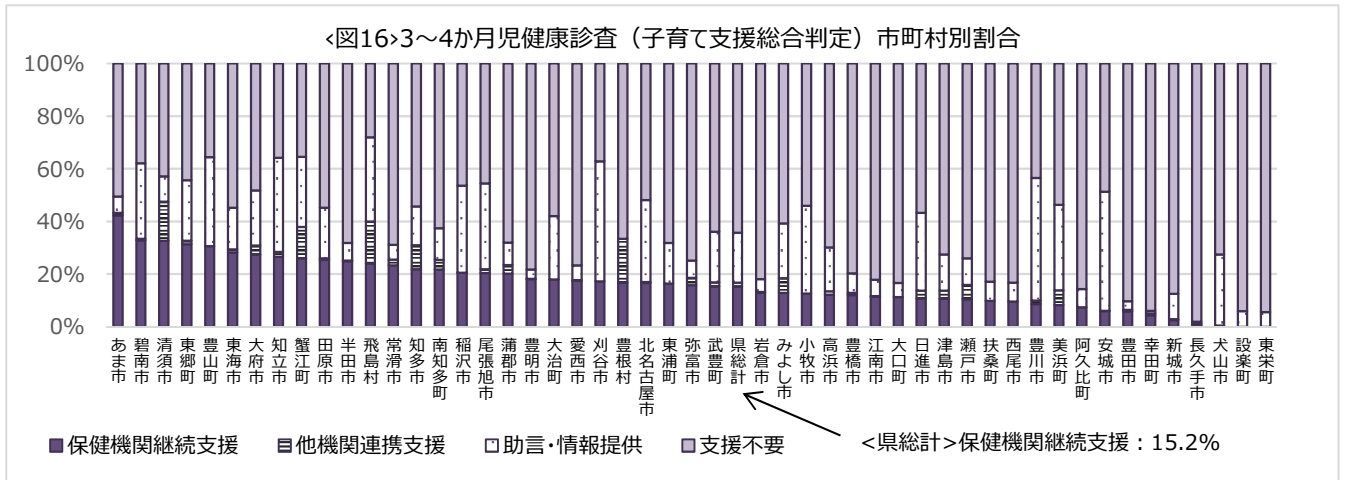


【保健指導・支援編】(名古屋市・一宮市・春日井市・岡崎市 (3, 4 か月児のみ) を除く)



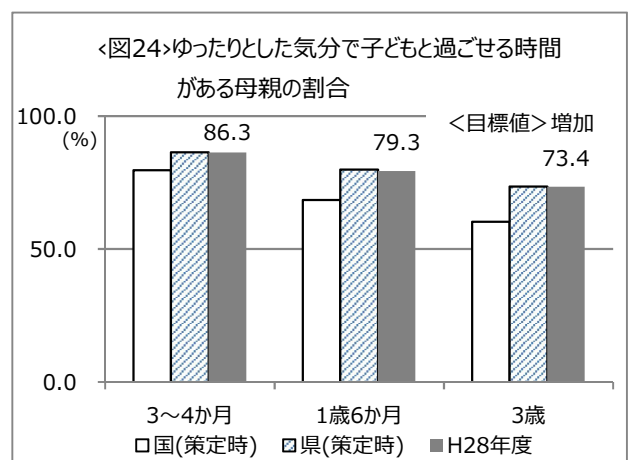
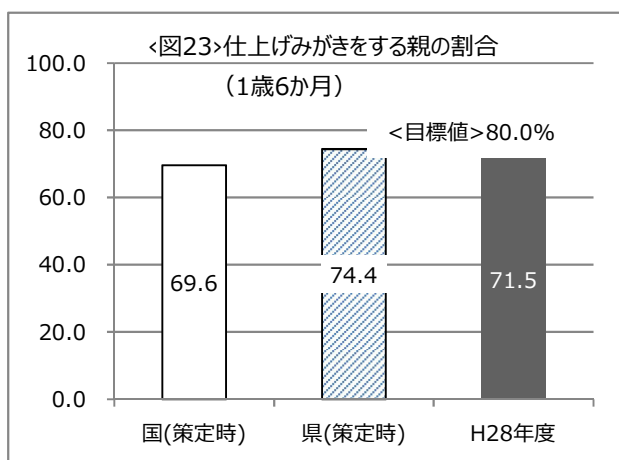
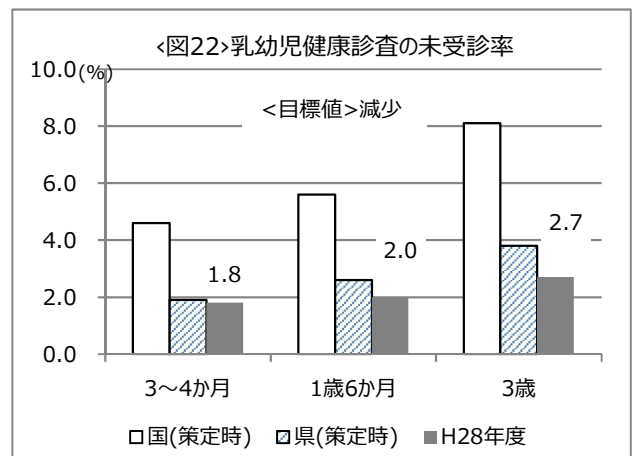
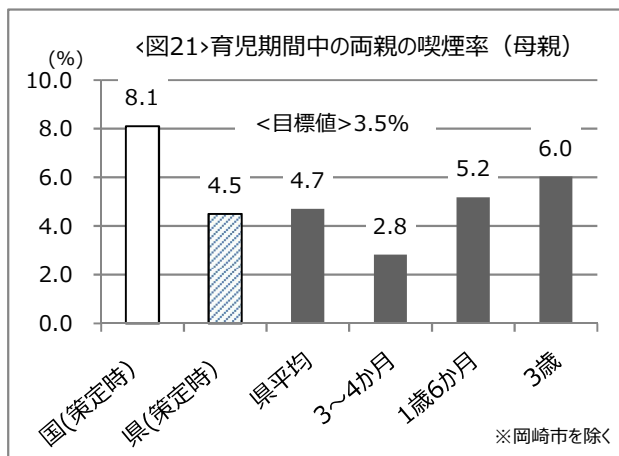
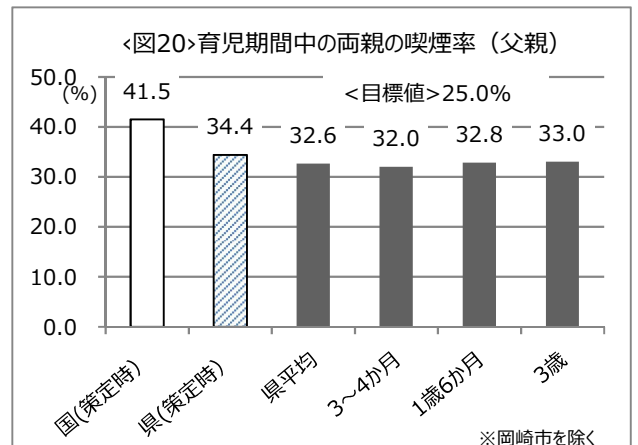
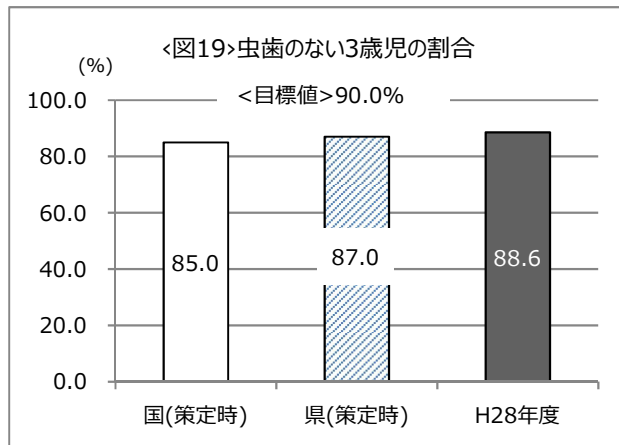
- 昨年度同様、市町村によって判定区分の割合にばらつきがみられ、特に「保健機関継続支援」と「助言・情報提供で自ら行動できる」については、市町村毎に判定の考え方が異なっていることがわかってきました。
- これらの考え方を整理し、評価の手法を検討することを目的に、いくつかの市町村に御協力をいただき、「乳幼児健診後のフォローアップと評価に関する検討（平成 29 年度成育疾患克服等総合研究事業：研究代表者・山崎嘉久）」において、調査、意見交換・検討を行っています。成果については、改めてご報告します。



【 すこやか親子編 】

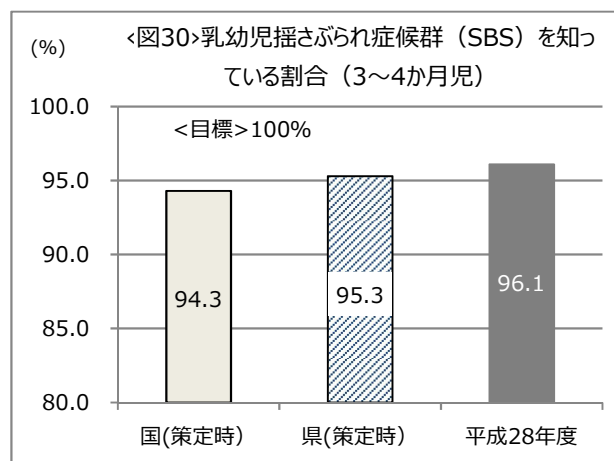
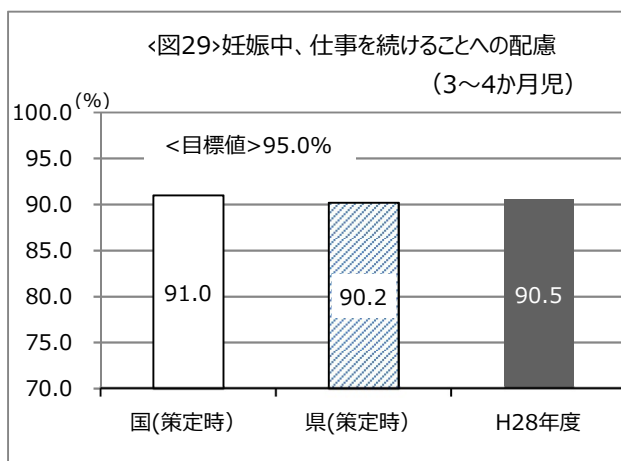
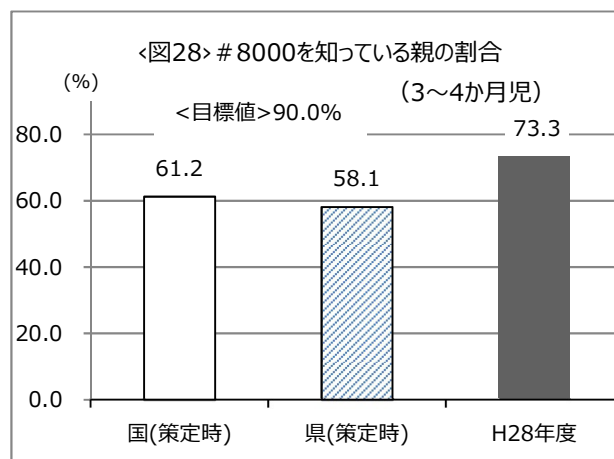
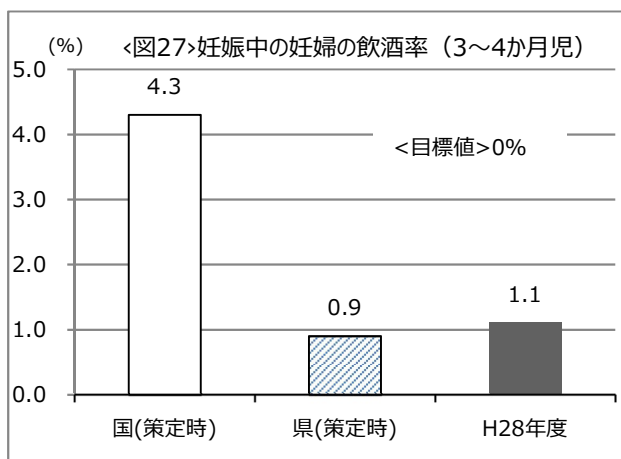
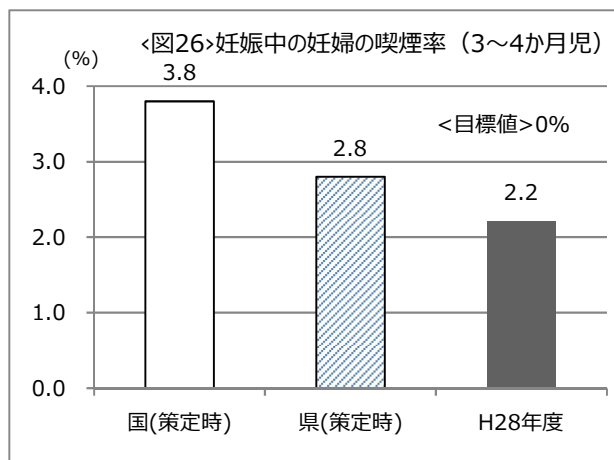
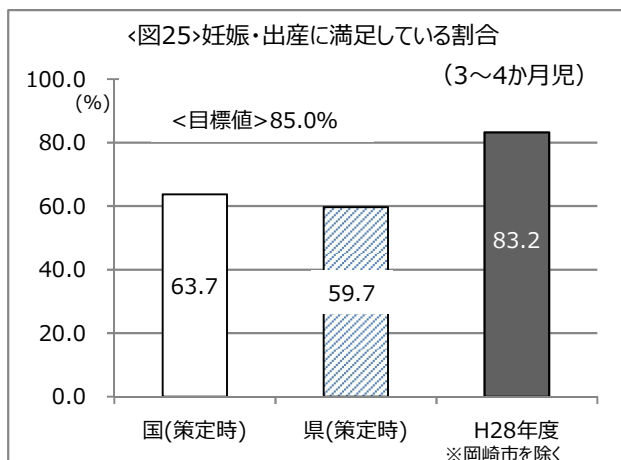
○ 「健やか親子 21（第 2 次）」（計画期間：平成 27 年から平成 36 年まで）で示された母子保健の水準を示す指標の「愛知県の現状値」及び「目標値」について、母子健康診査マニュアルで把握した数値の報告をします。今年度から、国の共通問診項目についても報告をいただき、ご協力ありがとうございました。

（1）健やか親子 21（第 2 次）で示されている指標の状況（一部抜粋）

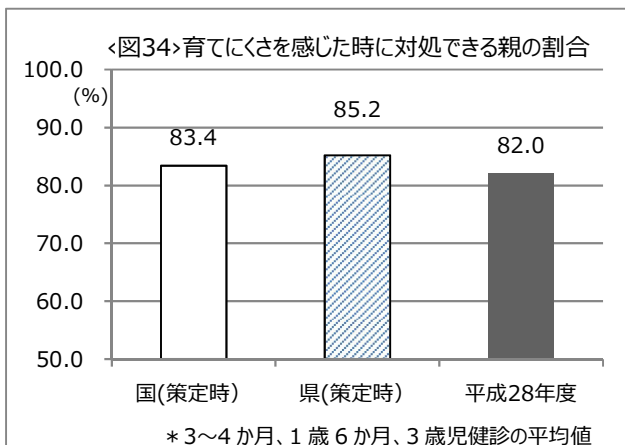
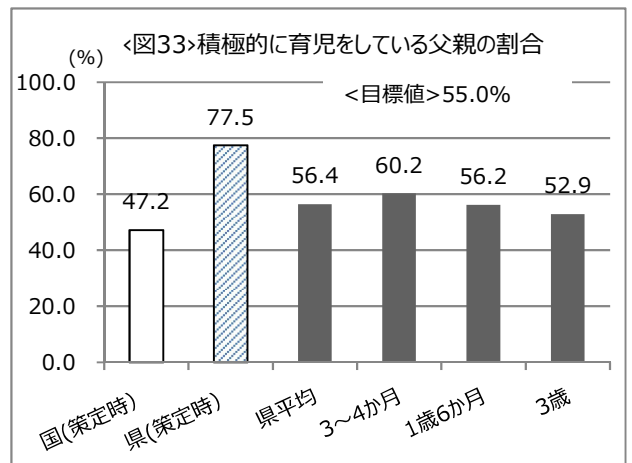
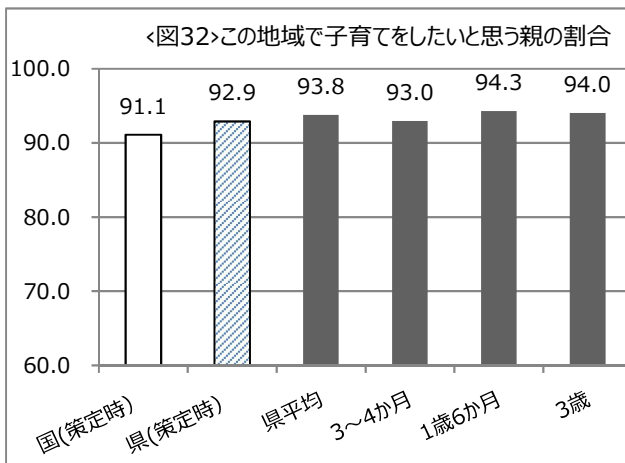
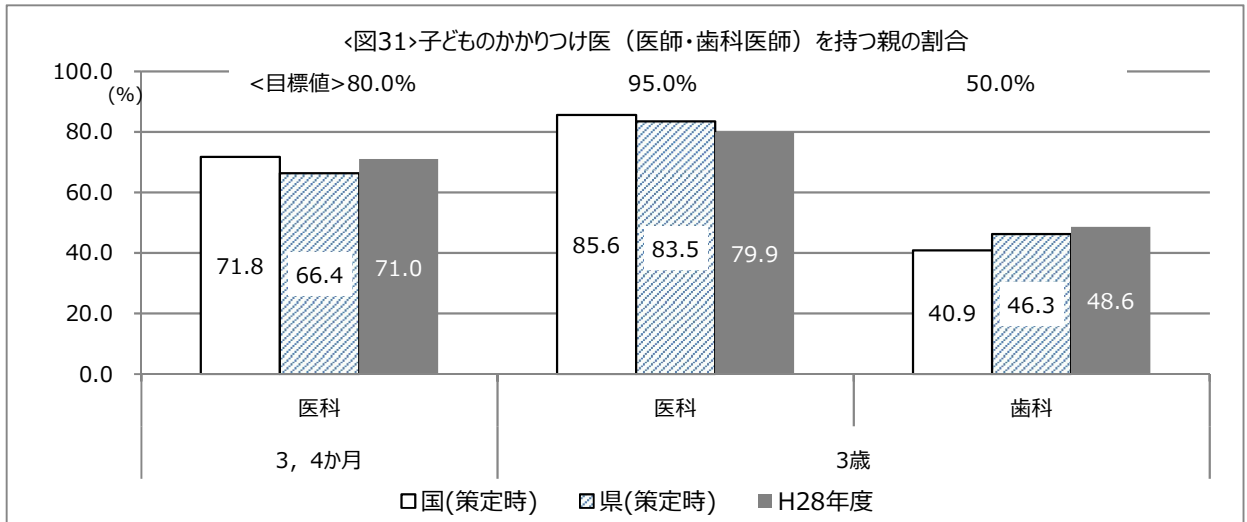


○ 「育児期間中の両親の喫煙率（母）」については、4.7%（県総計）で、策定時（H25年度：4.5%）より高くなっており、児の年齢が高くなるにしたがって喫煙率が高くなっています。

(2) 平成 28 年度から追加した共通問診項目の状況（健やか親子 21（第 2 次）で示されている指標）



- 図 25～30 については、おおむね目標に近づいています。
- 「妊娠中の妊婦の喫煙率」は、1.1%（県総計）で、国の「健やか親子 21（第 2 次）」策定時（H25 年度：4.3%）よりも低い数値ですが、県の「母子保健計画」策定時（H25 年度：0.9%）より高くなっています。

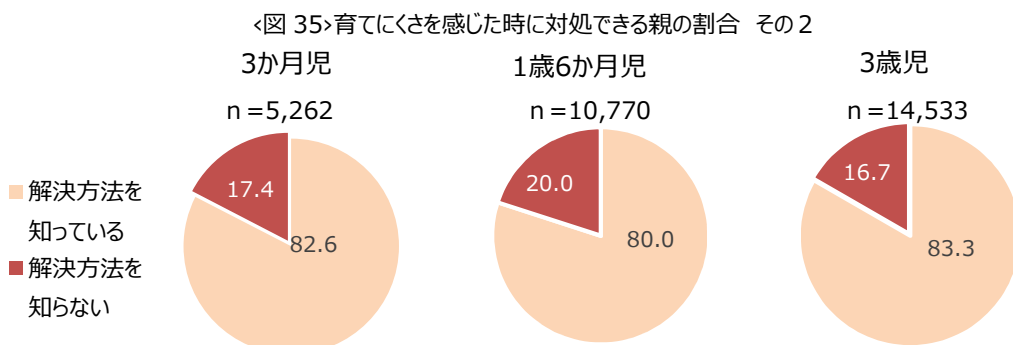


＜図 33＞の補足

県（策定時）の設問は、「お子さんのお父さんが、自分から進んで育児にかかわっていると感じますか。」としていましたが、現在は国の指標に合わせ、「お子さんのお父さんは、育児をしていますか。」に変更しています。そのため、設問が異なり、参考値となります。

＜図 34,35＞の補足

ここでは、「育てにくさを感じる」と回答した親のうち、「育てにくさを感じた時に、相談先を知っている等、何らかの解決方法を知っている」と回答をした場合を「育てにくさを感じた時に対処できる親」と定義しています。



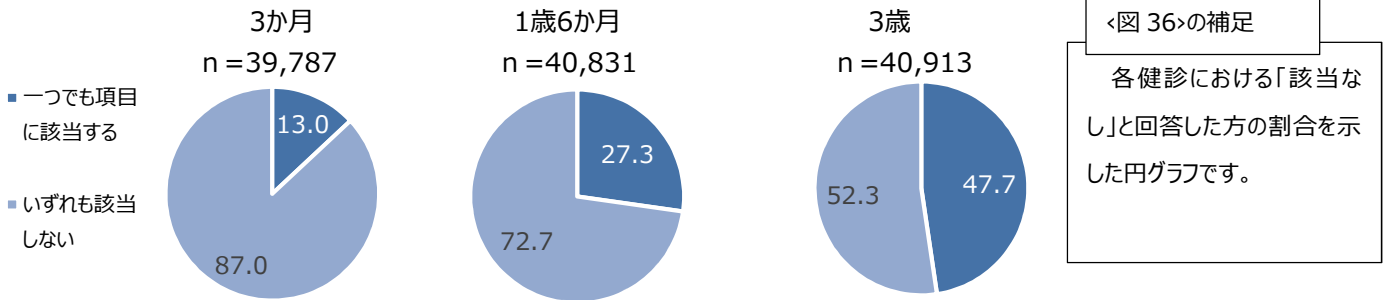
○ 「育てにくさを感じた時に対処できる親の割合」に関する項目では、解決方法を知らない、と回答した割合が、それぞれの健診で 16.7～20.0%でした。

〈図 36,37〉の補足：〔具体的な問診〕

「この数か月間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○を付けてください。」の選択肢に対する回答（複数選択可）

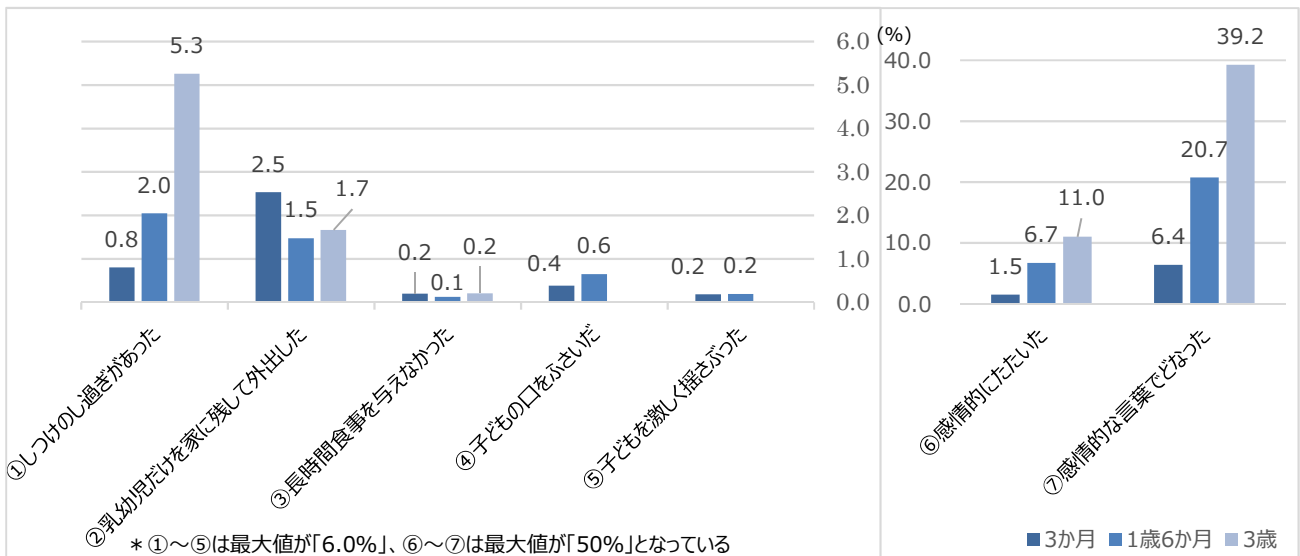
- ①しつけのし過ぎがあった ②乳幼児だけを家に残して外出した ③長時間食事を与えなかった  
 ④子どもの口をふさいだ ⑤子どもを激しく揺さぶった ⑥感情的にたたいた  
 ⑦感情的な言葉で怒鳴った ⑧該当なし \*項目④、⑤：3歳児は選択肢の設定がされていない

〈図 36〉「子どもを虐待していると思われる親の割合」に関する問診項目



- 「子どもを虐待していると思われる親の割合」に関する項目では、年齢が上がるにつれて、「該当なし」の割合が低くなっています。

〈図 37〉「子どもを虐待していると思われる親の割合」に関する問診項目 その2



〈図 37〉の補足

各健診における「①しつけのし過ぎがあった」から「⑦感情的な言葉で怒鳴った」に回答した項目の内訳のグラフです。

- 3～4か月では、「乳幼児だけを家に残して外出した」が2.5%、3歳児では「感情的な言葉で怒鳴った」が39.2%で年齢によって回答内容が異なっていました。  
 ○ 専門委員会では、「生活習慣病と疾患の関係について」や「育てにくさを感じた時に対処できる親の割合」では、育児の困難感と発達障害の関連について分析できると良いというご意見もいただきました。  
 ○ 市町村からは、問診項目が増え、聞き取りを丁寧に行くと健診が長時間となるため、健診に来る親子や健診の担当スタッフにとっても負担であるとの意見がありました。しかし、「子どもを虐待していると思われる」の項目に「○」を付けたことをきっかけに、母のSOSを受け止め、予防的な支援につながった事例があったとのご意見もいただいています。